

県内に経済効果124億円

愛教大 教職員・学生の消費7割

愛知教育大(刈谷)動「教職員・学生の」「その他の活動」「施設」は、大学が県全体消費、イベントなど「施設整備費」の四つの視

に及ぼす経済効果が百二十四億円になるとい

う試算を公表した。

愛教大の地域社会システム講座の西尾圭一郎講師とゼミ生が、宮崎大(宮崎市)が行った試算を基に分析。「教育・研究活

点から波及効果を測った。

最も大きいのは「教職員・学生の消費」で八十六億円と、全体の七割近くを占めた。次いで「施設整備費」(十九億円)、「教育・研究活動」(十七億円)と続いた。

愛教大の経済活動に伴う雇用創出効果は県内で千二百七十五人、税収効果は二・六億円になると試算した。

西尾講師は「愛知県や刈谷市に安定的な経済効果を及ぼしており、他大学と比較しても遜色のない規模」と話している。

(土屋晴康)